お知らせ

地域福祉実録！ご近所コネクション

地域活動の実態を知るべく、2か所を訪ねました。皆さんの地域はどんな様子でしょうか。

2月16日「八田おたふく会」

おたふく会は八田地区のミニデイサービス団体です。皆が楽しく交流できる場と食事の提供をしており、なるべく色々な催し物を取り入れています。

参加者は人づてに増え、今では会員65名、毎回約40名が参加しています。19名が調理を手伝い、負担を減らすためにレシピは3班に分けて考えられています。

忙しい調理場、いつもありがとうございます

町の補助金と参加費で運営するほか、農家・家庭菜園をされている方からの野菜の無償提供は、とても助かっているそうです。

ある方は、施設入所になってからも参加したいと思い、地域の方々の理解と施設の協力により、今でも職員同行で参加されていました。

また、八田地区では1月から、ミニデイと老人クラブの活動時、施設利用料を無料化することにしたそうです。これも地域住民の、「元気な地域にしたい」という強い気持ちの現れではないでしょうか。

勢揃いの食事は圧巻

2月18日「ななかふぇ」

ななかふぇは天王南7丁目の集会所を中心に自主防災活動を行っています。

今回は、同じ町内会にお住まいの高知新聞社職員の方、元消防職員の方の協力のもと「東日本大震災・昭和南海地震・熊本地震の写真展」と「自作ロケットストーブでの炊き出し実演と食事」を行いました。

ロケットストーブとは、パイプや断熱材を組み合わせて作れる器具です。今回使用したものはペール缶を基にしたもので、災害時用にも使えます。

ロケットストーブ、実はBBQもできるんです

当日はお隣の町内会からも参加があり、話し合いでは「防災用品は備えたらOK、訓練も1回やればOKではなく、定期的に点検や訓練をしなくては、いざという時役に立たない」ということを全員が再認識しました。また、町内会での係は任期が短いことがあるため、独自に防災グループを立ち上げてはどうかとの意見も出ました。

新聞に載りきらなかった大切な記録

町内のミニデイ団体、自主防災活動を行っている団体は、今回紹介した限りではありません。より多くの方が参加したくなる試みが、皆さんのすぐ近くに増えたら素晴らしいですね。

また、「記事内で気になった活動がある」、「取材してほしい地域がある」、「あそこで何かやっているらしい」などありましたら、気軽にご連絡ください。

■問い合わせ

ほけん福祉課
（すこやかセンター伊野内）
☎088-893-3810

お知らせ

いの町福祉タクシー・ガソリンチケットについて

町では、障害のある人の社会参加を促進し、活動範囲を広めることを目的とした福祉タクシー・ガソリンチケット交付事業を実施しています。

平成30年度分の福祉タクシー・ガソリンチケットは4月2日(月)から交付しますので（土、日、祝日を除く。）、対象になる方は申請手続きを行ってください。

※代理の方でも結構です。

▼対象者

町内に住所を有し、次のいずれかに該当する在宅で生活をする方

(1)身体障害者手帳の交付を受けており、

①視覚障害及び下肢障害もしくは体幹障害の障害等級が1級から3級の方

②上肢障害及び内部障害の障害等級が1級の方

※複数障害がある場合は個別の等級で確認します。

(2)療育手帳の交付を受けており、障害の程度がA1、A2の方

(3)精神障害者保健福祉手帳の交付を受けており、障害の程度が1級の方